

■After 建築名称 下段: 英語名	立教大学第一食堂 Rikkyo University, Main Dining Hall		
建築用途	大分類 教育施設	小分類 学生食堂、パーティールーム	
改修設計者	立教大学管財部施設課+坂倉建築研究所/瀧川公策 *・横田重雄*・鬼木竹義*・小室圭介*(旧所員)	URL	After 建設当初の空間が甦り食事に加え学びや交流でも賑わう 撮影者 撮影: 大野繁 2002年 提供者 提供: 横田重雄
所在地	東京都豊島区西池袋3-34-1	Google Map	
改修年	2002年		概要 After 増築棟との一体化によるレンガ造歴史建造物の耐震改修
建築規模	建築面積779㎡、延床面積998㎡、地上2階		
掲載書誌	新建築2002年6月号、近代建築2003年1月号、建築技術2006年8月号、ディテール175、神園第六号(内田祥哉)		概要 Before 1919年の落成後に加えられた設備機器や配膳動線により雑多な状況、あわせて建防協により耐震性能の問題が指摘されていた
関連事項	第14回BELCA賞ベストリフォーム部門		
■Before 建築名称	立教大学第一食堂		概要 Before 1919年の落成後に加えられた設備機器や配膳動線により雑多な状況、あわせて建防協により耐震性能の問題が指摘されていた
建築用途	大分類 教育施設	小分類 学生食堂	
■写真 Before	ホール内に設置された空調機置場、露出ダクト、蛍光灯	After 既存食堂ホールと建替厨房棟の隙間を使った配膳動線	After 建替厨房棟からガラスのない窓越しに空調を吹込む
			
撮影提供者	撮影: 横田重雄 2001年	撮影 撮影: 大野繁 2002年 提供: 横田重雄	撮影 撮影: 大野繁 2002年 提供: 横田重雄
■リノベーション内容	キーワード 外観保存(正面)、外観改変(裏側)、増築、対比、併存、合体、補強、復元、その他: 地震力転嫁	内容 立教大学は1918年より築地から現在の池袋の地に移転、本館、図書館、チャペル、寄宿舍、食堂による勉学と祈りと生活の場として、中庭をレンガ造りの建築群が囲む「メモリアルゾーン」は東京都選定歴史的建造物となっている。食堂のリニューアルでは、保存する「食堂ホール」を建設当初の姿に近づけるため、食事に必要な機能以外は新しく背後に建て替える「厨房棟」にサポートさせている。◇耐震補強ではレンガ造食堂ホールの地震力をRC造厨房棟に伝達し負担させ、食堂ホール内に新たに必要となる地震力伝達部材については既存木造小屋組の活用と、圧縮材より部材寸法が細くなる引張材で構成している。◇動線計画では配膳・返却スペースを食堂ホールと厨房棟の隙間に移動し行列と食事を分離した。◇空調計画では食堂ホール内には吹出口を含む一切の設備を設けず、厨房棟壁面からガラスをはずした窓越しにあたかも自然風のように吹込んでいる。(横田重雄)	
■備考	(BELCA賞内田祥哉先生講評抜粋) 耐震補強に当たっては、創建当時のイメージを残す正面外観には手を加えていない。食堂棟は耐震改修促進法による耐震補強、厨房棟は建築基準法による増築、この二つの計画を組み合わせたユニークなアイデアである。保存に止まらないリフォームの実施例で、姿は原型に再現され、機能は現代に蘇生された。		
■作成者氏名/所属	横田重雄/坂倉建築研究所(旧所員)		管理者記載